

## 日本音響学会第 22 回特別企画「いっしょに学ぼう音の不思議」

第 22 回特別企画実行委員会

委員長 森本 政之

本学会では、春・秋の研究発表会に併せ会員並びに一般市民を対象に特別企画を実施しています。今年も 2002 年秋季研究発表会の 3 日目に第 22 回目を開催いたします。

日 時 平成 14 年 9 月 28 日 (土) (2002 年秋季研究発表会 3 日目) 13:00~16:30

場 所 秋田大学 教育文化学部 3 号館 145 号教室  
(秋田市手形学園町 1-1, JR「秋田駅」から徒歩 20 分。車で 10 分。)

内 容 インターネットやコンピュータの発達と共に、今、世の中の情報が急速に進んでいます。ことばを交わすための道具であった電話も、今やインターネットのための情報端末に変わりつつあります。しかしどんなに世の中が変わっても、音はやはりかけがえのないもの。音声でことばを伝え、音楽を友とする私たちにとって、音はとても大切なパートナーです。私たち人間が音を聞く仕組みや音を用いた最新の技術を学びながら、いっしょに音の世界の探検に出ませんか。今回は次の三つの話題を準備しました。

### 話題 1. 「おと」ってなんだろう? —— 生活の中の様々な音 ——

お話 森本政之 (神戸大)

私たちは、様々な音に囲まれて暮らしています。このような音はどのような仕組みで発生して、どのように伝わり、またどこで理解されるのでしょうか。この話題では、音の基本的な性質について調べてみましょう。

### 話題 2. 「音」を使って体の中をみる —— 音の性質と「超音波」を使って体の中の様子を調べる方法 ——

お話 金井 浩 (東北大)

音は何か当たるとはね返ったり (反射)、飛び散ったり (散乱) します。超音波と呼ばれる音を使うと、そのような音の性質を用いて、体の中の様子を詳しく調べることができます。実際にその装置が動く様子を観察しながら、その仕組みを紹介します。

### 話題 3. 英語はどうして聴き取りにくいのか? —— 「ことば」の不思議とコンピュータを使った英語学習方法 ——

お話 山田玲子 (国際電気通信基礎技術研究所)

アメリカ人にとってはやさしい英語音の /l/ と /r/ との聴き分けは、何故日本人には難しいのでしょうか。こんな疑問に答えながら、ことばとしての声の不思議を解説します。更に、最新のことばの研究から生まれた、コンピュータを使った英語学習法も紹介します。

## 日本音響学会第 22 回特別企画「いっしょに学ぼう音の不思議」参加申込書

ふりがな		<input type="checkbox"/> 正会員	<input type="checkbox"/> 学生会員
氏名		会員番号〔	〕
		<input type="checkbox"/> 会員外	<input type="checkbox"/> 学生 (会員外)
		<input type="checkbox"/> 賛助会員	
参加票送付先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅		
※部課・研究室名までご記入下さい。	勤務先・部課名: 〒		
	Tel.	Fax.	

- 定員 一般、中学、高校生を含んで200名
- 参加費 無料
- 主催 (社)日本音響学会
- 共催 秋田大学工学資源学部、秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館
- 後援 秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、あきた産業振興機構、秋田魁新報社、朝日新聞秋田支局、河北新報社、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、エフエム秋田、ACB秋田コミュニティ放送(順不同)
- 申込期限 平成14年9月13日(金)
- 申込方法 申込用紙に所定の事項を記入の上、日本音響学会までファクシミリ又は郵送にてお申し込み下さい。先着順で入場整理葉書をお送りします。参加申込書のページをA4に拡大してそのままお送り下さい。
- 申込先 日本音響学会事務局第22回特別企画係  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-18-20 ナカウラ第5ビル2階  
Tel. 03-5256-1020, Fax: 03-5256-1022

### 秋田大学手形キャンパスへの 主要アクセス

